

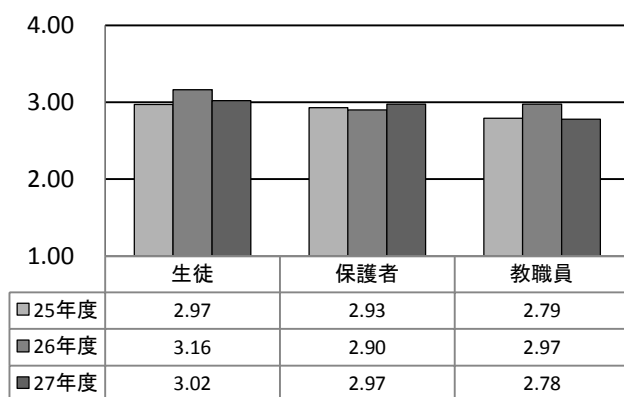
学校評価アンケート特集

よりよい南林間中学校づくりを目指して、昨年11月末から12月初旬にかけて教職員・生徒・保護者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施しました。三者の比較ができるよう共通の項目も設定しました。

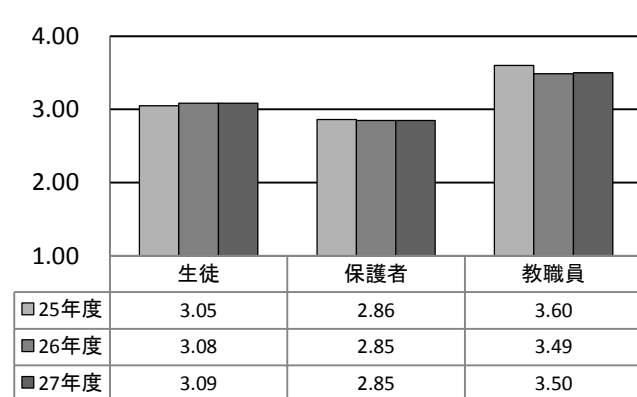
回答は、4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わないとしました。中間値は2.5となり、平均値が3以上であれば良い、2.5～3をやや良い、2～2.5をやや悪い、2以下を悪い評価として、一昨年・昨年との比較、三者の差異について分析・考察しました。

1. 学校運営

問1. 生徒たちは目標を持って学校生活を送っていると思いますか。



問2. 本校は家庭への連絡や情報提供を積極的にやっていると思いますか。

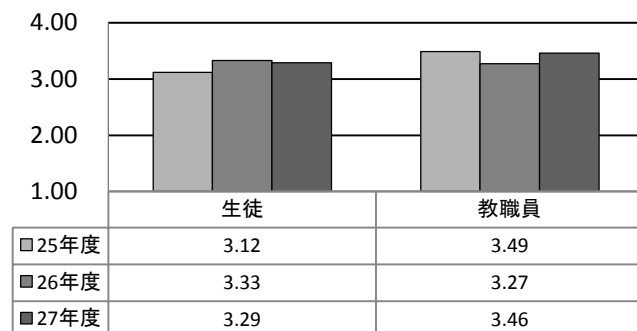


問1の結果から、多くの生徒が目標を持って学校生活を送っているものの、教職員はややそう感じない部分も多少みられます。

問2の結果から、家庭への連絡や情報提供は、教職員と保護者の意識に差があります。保護者に学校からの連絡や情報提供が届いていないことも考えられます。今年度、PTA関係文章は学校ホームページ上からも閲覧できるように改善しました。

2. 学習指導

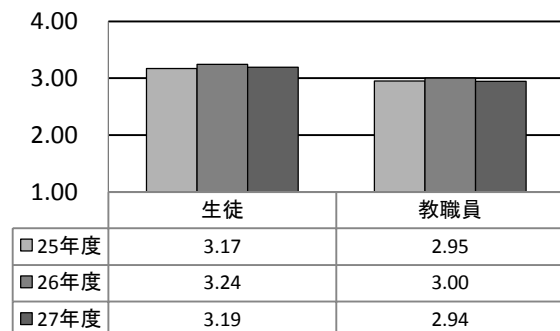
問3. 教職員は分かりやすい授業に努めていると思いますか。



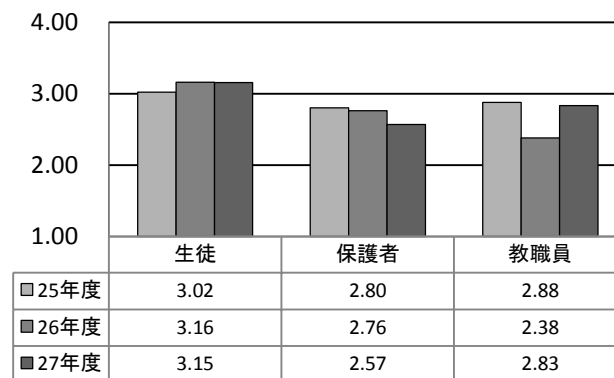
問3の結果から、教職員は授業の初めに目標やねらいを示し、授業後には学習内容の振り返りの時間を作ることにより、昨年よりも意識の向上が図れました。ただし、生徒の意識にあまり変化がないことから、教職員は生徒の状況をよく把握して、更にわかりやすい授業の展開を追求していく必要があります。

問4の結果から、生徒と教職員の意識の差が見られます。教職員は生徒が意欲的に取り組んでいることを評価していく必要があります。

問4. 生徒達は意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



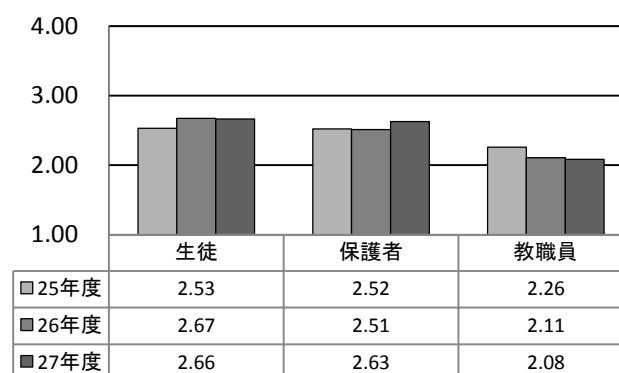
問5. 本校は地域の環境や人材を教育活動に生かしていると思いますか。



問5の結果より、生徒の数値がやや高いことから生徒は地域の方からも学んでいるという意識が感じられます。本年度から職場体験を実施しています。来年度も地域の方にご協力を仰ぎながら進めていきたいと思っています。

問6の結果より、教職員、生徒、保護者の意識がやや近づいてきています。今後、教職員は生徒や保護者と面談等を通じて連携をとりながら、苦手な内容に対する早めの対応と良い面は伸ばしていく姿勢を大切にしていきたいと思っています。

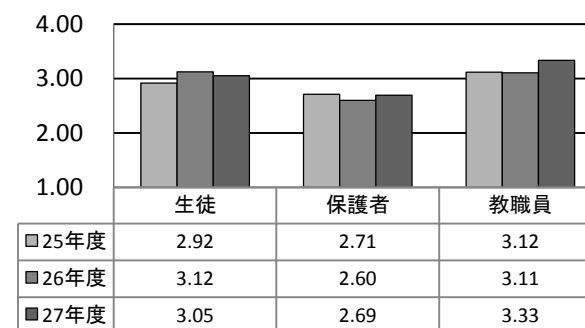
問7. 生徒達は家庭で毎日勉強していると思いますか。



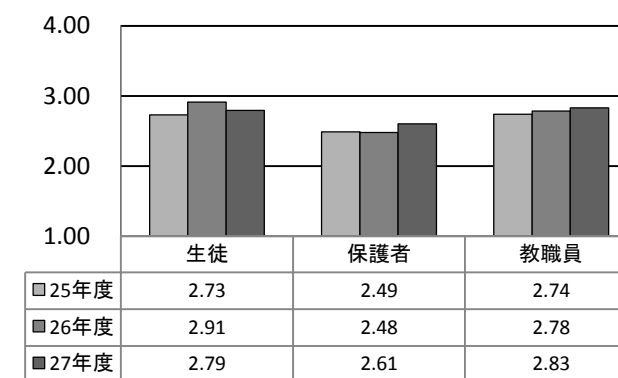
問7の結果より、保護者は毎日勉強していると感じている方がやや上昇していますが、逆に教職員は減少しており、生徒・保護者と教職員の差が大きくなってきました。他の質問項目に比べ、数値が低く「毎日」、「家庭」で勉強している生徒は少ないようです。

問8の結果より、教職員はやや上昇の傾向です。総合的な学習の時間のテーマが「人とのより良い関わり」に変わってから2年目ということもあり、教職員は意識的に取り組んでいるものと考えられます。

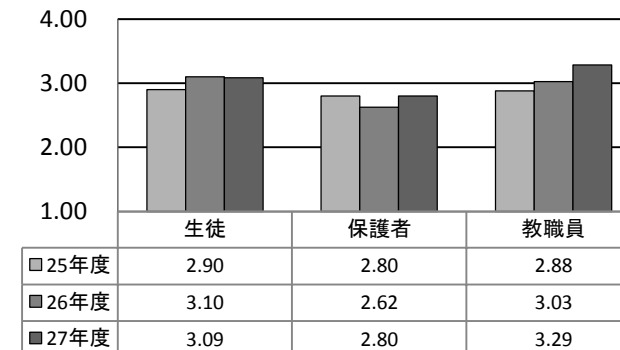
問9. 本校は生徒の豊かな心を育てようとしていると思いますか。



問6. 生徒達の学力は向上していると思いますか。



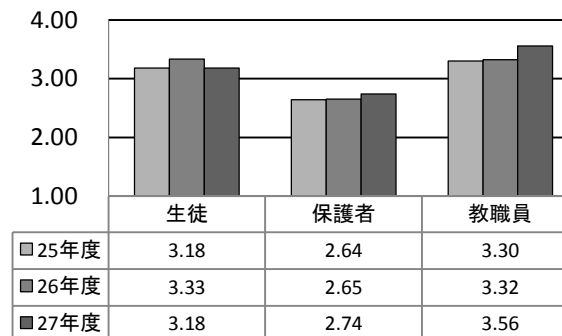
問8. 本校の総合的な学習の時間(テーマ「人とのより良い関わり」)は、生徒が将来の生き方を考える上で役立っていると思いますか。



問9の結果より、教職員はやや上昇しているものの、生徒、保護者は横ばいです。教職員は豊かな心を育む具体的実践の場を逃すことなく、生徒と関わっていかなくてはなりません。

3. 評価

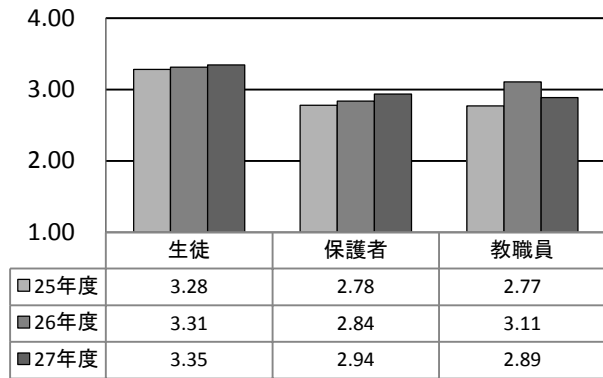
問10. 本校では、生徒を適切に評価していると思いますか。



適切に評価していると感じている職員は多いが、生徒や保護者とは隔たりがあります。具体的でわかりやすい説明が必要で

4. 生活指導

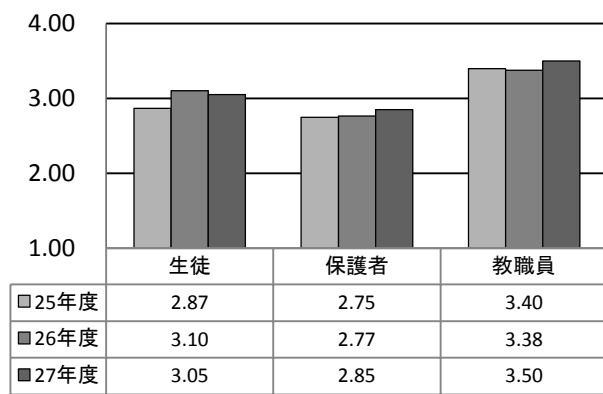
問11. 生徒のあいさつはよくできていると思いますか。



問11の結果より、生徒はあいさつがよくできていると思っておりますが、教職員と保護者の感じ方はほぼ同じです。また、あいさつをよくしている生徒とあまりしていない生徒の差があるように思います。家庭とも連携しながらあいさつの大切さを伝えていきたいと考えます。

問12の結果より、教職員と生徒、保護者との隔たりはありますが、保護者はやや上昇傾向にあります。教職員は生徒の立場にたった適切な対応をこころがけていく必要があります。

問13. 本校では、生徒が安心して学校生活を送れるような生活指導をしていると思いますか。

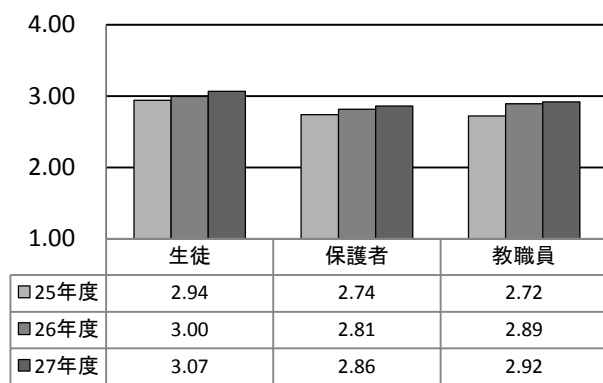


問13の結果より、生徒と保護者の差が小さくなってきています。教職員との隔たりがあることから教職員は生徒の感じている不安により向き合うことが大切です。

問14の結果より、生徒、保護者、教職員の感じ方に大きな開きがあります。今後も生徒が自分の考えや意見を言しやすいような学級づくりに努力を続ける必要があります。

5. 特別活動

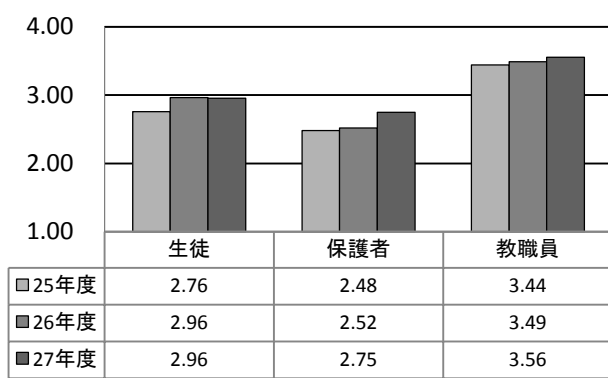
問15. 本校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。



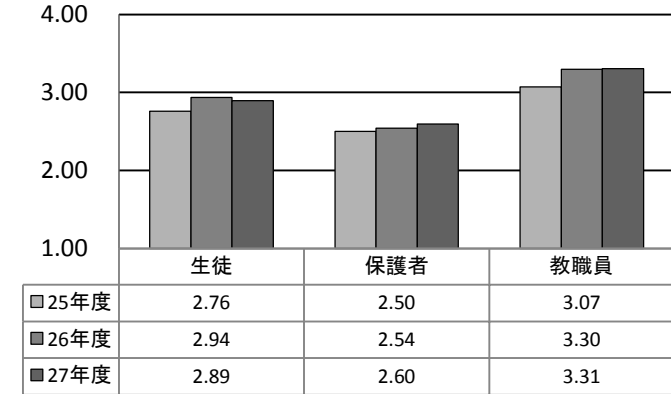
問15の結果より、他の項目に比べ、教職員、生徒、保護者は同じように思っていてやや高くなってきています。積極的に取り組むような手だてや場の設定により意識がもっと変わってくると思われます。

問16の結果より、教職員はやや下降気味ですが、生徒はそれなりに充実しているように感じとれます。教職員からするともっとやれるのではないかと期待感も感じられます。

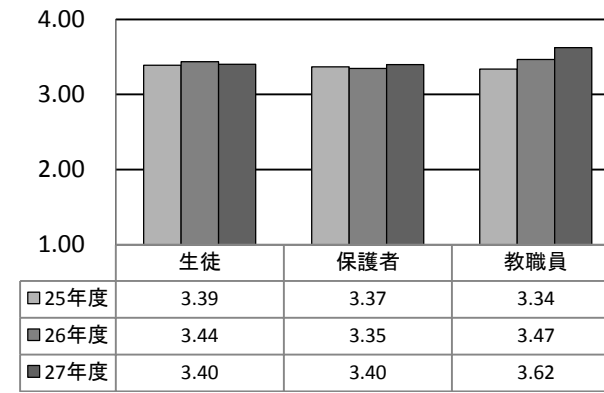
問12. 生徒の相談事や悩みなどについて、教職員は適切に応じていると思いますか。



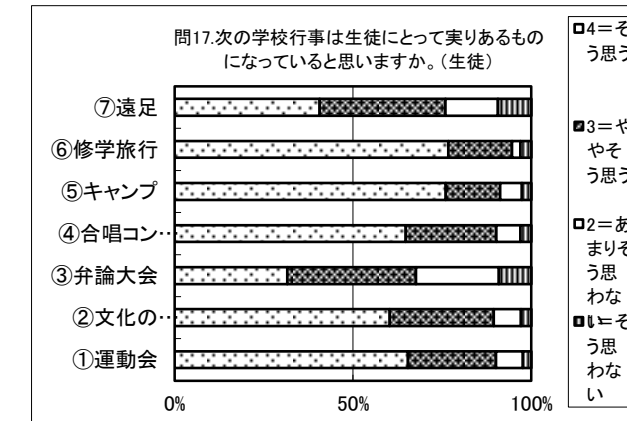
問14. 本校では生徒が自分の考えや意見を言しやすいような学級づくりに努力していると思いますか。



問17. 学校行事は、生徒にとって実りあるものになっていると思いますか。



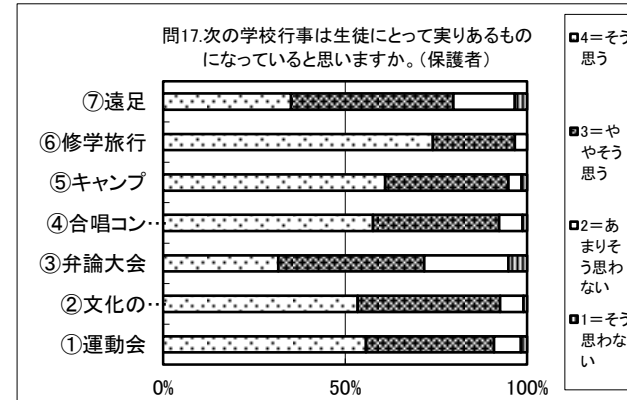
〈生徒〉



教職員、生徒、保護者共に高い評価になっていきます。学校行事は生徒にとって実りあるものと思われます。

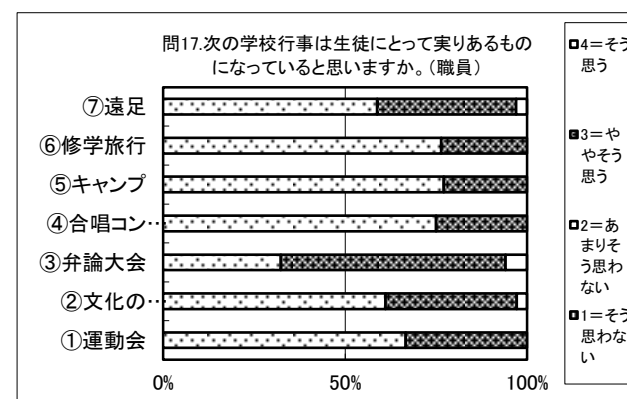
	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行	⑦遠足
4=そう思う	475	434	83	460	174	198	91
3=ややそう思う	179	210	95	180	35	46	79
2=あまりそう思わない	55	55	61	48	14	6	33
1=そう思わない	17	21	24	22	6	8	21

〈保護者〉



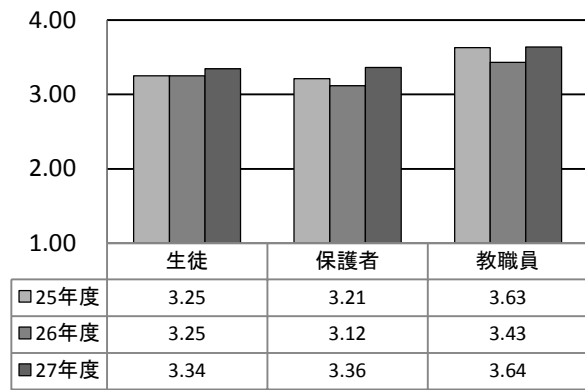
	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行
4=そう思う	228	218	56	233	83	89
3=ややそう思う	144	160	71	140	46	27
2=あまりそう思わない	30	26	41	26	5	4
1=そう思わない	7	4	9	5	2	0

〈職員〉



	①運動会	②文化のつどい	③弁論大会	④合唱コンクール	⑤キャンプ	⑥修学旅行
4=そう思う	24	22	11	27	27	26
3=ややそう思う	12	13	21	9	8	8
2=あまりそう思わない	0	1	2	0	0	0
1=そう思わない	0	0	0	0	0	0

問18. 部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。

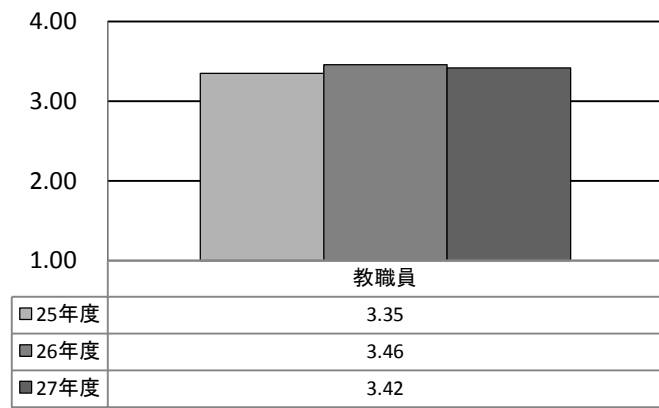


問18の結果より、教職員、生徒、保護者共に高い評価となっています。特に、保護者の評価が上がってきています。

問19の結果より、地域や福祉施設で毎年募集があり、生徒にとって有意義な活動のひとつとなっています。

6. その他

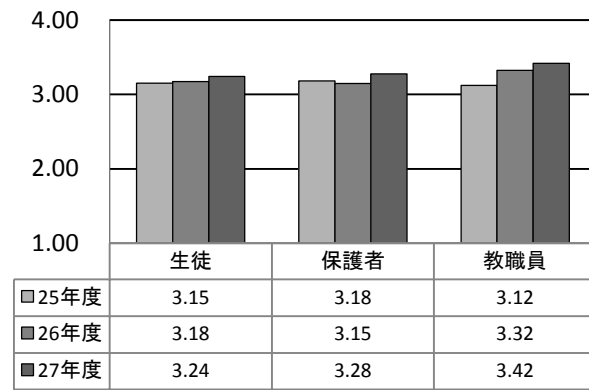
問20. 本校の研修・研究体制は充実していると思いますか。



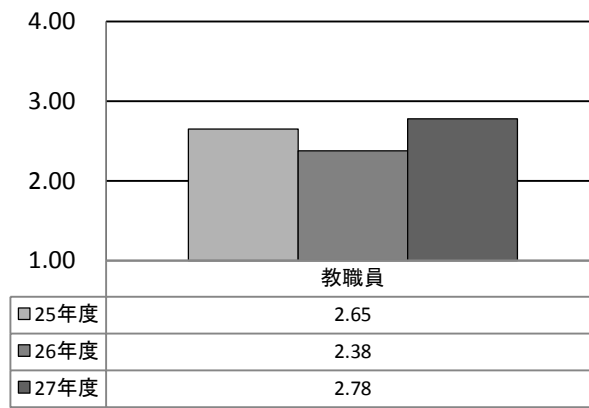
問20の結果より、研修・研究体制が充実していると感じている教職員が多いことがわかります。

問21の結果より、上昇傾向にあるものの、さらの校種間の連携を深めていく必要があると思います。

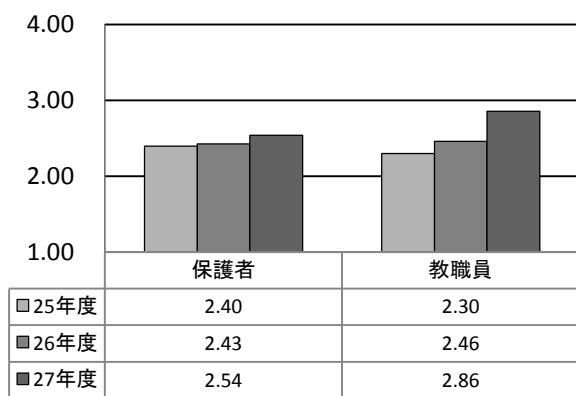
問19. 地域や福祉施設等で行っているボランティア活動は有意義だと思いますか。



問21. 小学校・高校との校種間連携は十分だと思いますか。



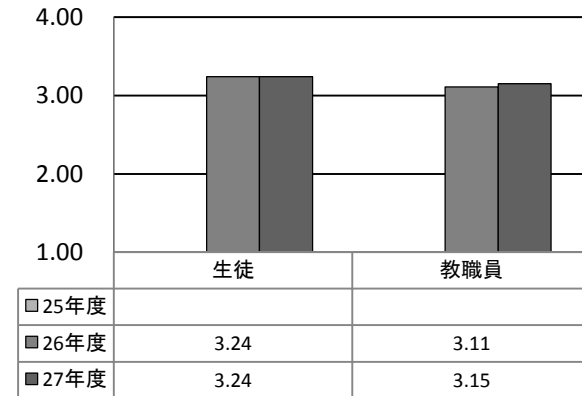
問22. PTA活動の内容を知っていますか。



問22の結果より、やや上昇傾向にあります。今後も教職員はPTA活動に積極的な参加をしながら理解を深めていく必要があります。

問23の結果より、朝読書は教職員、生徒共に高い評価となっています。読書の習慣が身につけてきているように思います。

問23. 朝読書により読書の習慣が身につきましたか。



まとめ

生徒集計		保護者集計	
高い評価項目	低い評価項目	高い評価項目	低い評価項目
家庭への連絡	あいさつの励行	学校行事	
わかりやすい授業	生活指導	部活動の充実	
授業への取り組み	校内環境美化	ボランティア活動	
地域の人材活用	生徒会・委員会活動		
総合的な学習の時間	学校行事		
豊かな心	部活動の充実		
評価の適切性	ボランティア活動		
朝読書			

○生徒の結果はほとんどの質問項目に対して高い評価を示しています。多くの生徒は学校生活全般に充実感を持ち、目標をもって生活しているようです。一方保護者においては学校行事や部活動、ボランティア活動に対しては評価しているものの、他の項目に対しては隔たりがあります。ただし、例年に比べ低い評価の項目が減り上昇傾向ではあります。教職員は授業参観や保護者会等の機会があるごとに学校での生活状況を伝えていく必要があります。また、教職員、生徒、保護者の三者の連携を深めていくことも必要です。

○生徒・保護者共に学校行事、部活動の充実、ボランティア活動に対する評価が高く、今後も大切にしていける必要があります。

○教職員は生徒の考えていることに耳をかたむけ、生徒が安心して学校生活を送れるよう意識して取り組む必要があります。

○教職員は学習に対して生徒は意欲的に授業に参加しつつも学力が向上しているという実感を持っていない面をどのようにしていかなくてはならないか考えていく必要があります。また、毎日家庭で勉強しているという数値が他の項目より低いことも気になります。